沖縄振興審議会・総合部会専門委員会における「産業」に関する意見

資料３

【①産業全般に関する意見】

○　沖縄発展の礎は産業経済の振興であり、民間主導での構築に向けて取組をさらに強化していく、沖縄の持つ特徴を生かしながら戦略的な将来像を描く必要がある。

○　産業の発展を下支えする人材の育成も欠かせない。それとともに、沖縄の強みを生かした先進的な取組が今後は重要。

○　地域特性に合った振興策を進めるため、沖縄を知る者が振興策の発想から実現まで行うエコシステムの中にしっかり参画すること、またそのような人材がもっと育っていくことが重要。

○　沖縄県は人口減少局面に入ったものの、他のエリアに比べると少子化の進行が遅く若者が多い。一方で、ワースト１位の失業率であり、早期の離職を止めて、キャリアアップやリスキリングができるような組織や産業を作ることが重要。

○　第三次産業に働き手が偏っており、一次産業含め他の産業にうまく配分できていないのが問題。

○　学校教育と連携した早期からの産業人材育成や、沖縄の特性を活かすキャリア形成支援・産業教育を、柔軟性を持ちつつ体系的かつ系統的に進めることが重要。

沖縄振興審議会・総合部会専門委員会における「産業」に関する意見

【②スタートアップ・産学官金連携に関する意見】

○　県内企業等を初期顧客として繋げることでスタートアップを定着させ、オープンイノベーションを図ることも重要。

○　沖縄のスタートアップはシード期が多く、それ以降のフェーズに成長するための支援が重要。

○　基礎研究と産業界の接点が少なく、研究と市場を繋ぐ人材が沖縄には僅少。産学連携に資する人材を産業界から育成していくことが重要。

○　同一地域で各分野・プレイヤーが相互性を持っていないことが課題。スタートアップ分野で言えばおきなわスタートアップコンソーシアムのように、町としてクラスターを階層化していくことが必要。

○　県内にマザーファンドを構築し、スタートアップに資金が回るような仕組みを沖縄県内に作ることができれば良い。

○　強い産業界や良質なスタートアップは、その業務が知能労働となり給与水準が高くなるため、高度人材の流出の抑制に寄与すると考える。

○　経営人材の育成のため、台湾と連携してMBAの教育プログラムを沖縄で受講できる仕組みを作っていくことも重要。

沖縄振興審議会・総合部会専門委員会における「産業」に関する意見

【③DX・AI活用に関する意見】

○　生成AIをはじめとする先進的技術を教育や産業に活用することが重要。これまでのDX推進の成果を土台に、デジタルの先進的技術を教育と産業分野で組み込むフェーズに入っている。

○　労働生産性が全国最下位の課題を抱える本県では、生成AIやDXが現状を打破する大きな可能性であり、今現場がいかにAIを使いこなして効率化に繋げるかといった、実益を重視した人材育成も重要。

○　観光DXを活用して観光の高付加価値化を図るためには、データをできるだけリアルタイム化・オープンデータ化することが重要。

○　生成AIなどデジタルに親しむα世代がこれからの社会で活躍するためには、幼少期からデータを読み解く力を育てることが重要。

○　観光DXでは、データ取得やDX化自体を目的とせず、データ活用で実現したい目標等を明確化することが重要。

○　観光DX(データ)がもっているものを、都市計画や景観行政に接続して活用すべき。

○　スマート農業の活用に際しては、効率化・画一化の視点だけでなく、地域の従事者の作業記録や工夫等をAIに学習させることで、農業者や地域の知見を次代に繋いでいくという視点も重要。